

コスタリカ

# 野村大使が墜落死

## 操縦訓練中 軽飛行機と接触

【マキシコ市十七日共同】

中米コスタリカで十七日、野村忠策駐コスタリカ大使が



野村忠策大使

が軽飛行機の操縦訓練中、他機と接触して墜落、大使と教官の二人が即死した。野村大使はエルサルバドルの大使も兼任していた。

首都サンホセの日本大使館によると、事故起きたのはサンホセ中心街の西約十キロのサンタアナ地区で、同日午前七時四十分（日本時間同午後

十時四十分）ごろ、別の軽飛行機と接触し、大使の搭乗機が民家に突っ込んだ。機体は真っ二つに折れ、後部は墜落現場から約三百メートル離れた道路上に落下、前部は衝突の衝撃で大破したという。

日本大使館はコスタリカ民間航空局と原因などを調査している。大使館によると、事

故機は教官が操縦していたことが確認されており、被害に遭った民家の四人のうち数人が負傷したもよう。

現地からの報道では、大使の搭乗機は同地区に接する国内線用空港で着陸後直ちに離陸に移る訓練を行っていたとの目撃証言がある。また接触相手機には訓練中の者しか搭乗していなかったとの情報もある。

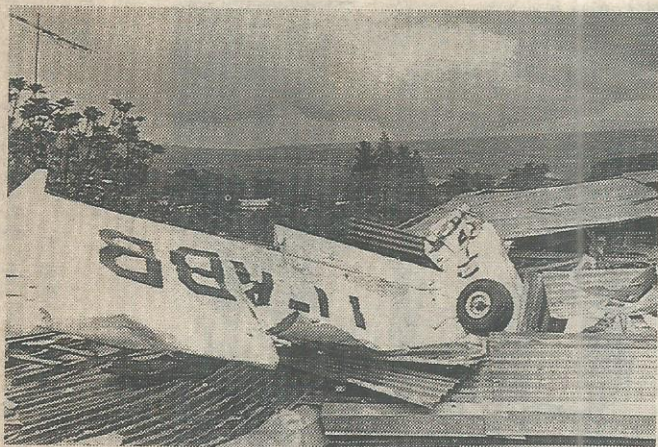
野村大使は半年ほど前から

AUG. 1990



同空港にあるパイロット養成学校に通い始めたらしい。

大使は新潟県長岡市出身で、東大法学部卒業後一九五七年（昭和三十二年）に外務省入り。ニュージールランド、韓国の日本大使館参事官を経てパプアニューギニア大使となり、昨年六月にコスタリカに着任した。



17日サンホセ郊外に墜落し、訓練中の野村駐コスタリカ大使が死亡した軽飛行機の残がい（ロイター＝共同）